

パラメータ起動処理って何だろう？

「パラメータ起動処理」の画面には、今までに生成したパラメータの一覧が表示されるけど、どんな時に使うと便利なんだろう？

パラメータ起動処理は、メニューを用意する前に個々のパラメータを起動できるので、運用開始前のパラメータを動作確認する場合に便利です。

業務改善の ミカタ

パラメータ起動処理では入力処理や出力処理などの生成済みのパラメータを、メニューを配置することなく、直接起動することができます。
そのため例えば、まだ実運用を開始する前のためにメニューを用意していないパラメータを起動して、動作確認の作業を行う場合に活用いただけます。



—— 実際に確認してみよう！ ——

STEP 1

パラメータの起動:[パラメータ起動処理]画面

生成済みのパラメータを一覧表示

パターンNo.	実行区分	タイトル	最終更新日時
000001001	カード型入力処理(固定)	社員マスター	2023/05/12 14:24
000001004	作表処理	社員マスターリスト	2023/05/12 14:24
000001005	テキスト出力処理	社員マスター出力	2023/05/12 14:24
000001006	テキスト取込処理	社員マスター取込	2023/03/23 10:30
000001007	カード型入力処理(固定)	顧客情報保守	2023/05/16 15:16
000001010	テキスト出力処理	顧客情報出力	2023/05/16 15:16
000001011	テキスト取込処理	顧客情報取込	2023/04/07 13:28
000001012	カード型入力処理(可変)	顧客分類マスター保守	2023/03/20 18:15
000001015	テキスト出力処理	顧客分類マスター出力	2023/03/23 10:30

任意のパラメータの行をダブルクリック、あるいは行をクリックしてからF2キーを押下すると、パラメータが起動します。
ブラウザ実行オプションを導入した環境であれば、F4キーの押下により、ブラウザのパラメータが起動します。